

2011

6

13号

独立行政法人  
国立病院機構  
National Hospital Organization



Matsumoto Medical Center

理念

いのちの尊さを重んじ、質の高いやさしい医療を提供します

# まつもと医療センター

- ◆ まつもと医療センター「体地化整備に向けて」……………2
- ◆ 病院祭のご案内……………3
- ◆ 2011年まつもと医療センター緩和ケア研修会を開催して……………4
- ◆ 医療安全研修…聖路加国際病院院長福井次矢先生をお招きして……………5
- ◆ 「看護の日」のイベント……………6
- ◆ 「地域連携」体験型外来糖尿病教室」をご利用ください……………7
- ◆ 看護師募集の近況……………7
- ◆ 中信松本病院 整形外科紹介……………8
- ◆ 野村医院紹介……………10
- ◆ 和紙画・写真寄贈者紹介……………11
- ◆ お知らせ……………12

# Matsumoto Medical Center

# まつもと医療センター 一体地化整備に向けて



事務部長  
ひらた まさのり  
平田 真教

この度の「東北地方太平洋沖地震」「長野県北部地震」により、被害を受けられた皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復興と皆様のご健康を心からお祈りするとともに、被災した病院への職員の派遣や当地へ避難してきた方々の診療対応等まつもと医療センターの職員としてできることに取り組みたいと考えています。

今回の地震では、松本病院、中信松本病院とも直接の被害はなく、入院されている患者さんの安全もただちに確認することができましたが、被災地の状況を参考にすれば、衛星電話のようにならざる災害の時でも外部と連絡がとれる手段を整えるとともに、普段から自家発電装置やライフラインのメンテナンスをきちんとしておくことの必要性を改めて感じました。

当センターは、現在、2病院体制で運営されていますが、平成25年度には松本病院の地で一体化して運営ができ

るよう、職員で準備を進めております。計画では、松本病院の既存の外來棟を活用しつつ、病棟等については全て建て替えを行い、地域の皆様から愛され、両病院の診療機能を一か所で発揮することのできる機能的な病院を整備していくこととしていますが、今回の災害を参考に、安全性の面や避難のしやすさなども十分に検討を重ねていきたいと考えていますので、今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。



まつもと医療センター新築病棟のイメージ図

## 基本方針

1. 医学的根拠に基づいた医療を安全に提供します
2. 適切かつ十分な説明を行い、理解と同意を得た医療を提供します
3. 患者さんの思いを大切に、敬意と思いやりの心で接します
4. 地域の医療機関と連携し、地域医療の向上に努めます
5. 教育研修の充実を図り、職員の能力向上と人材育成に努めます
6. 常に前進・研鑽し、臨床研究を通じて医療水準の向上に努めます
7. 明るく健全な病院経営を行います

## 患者さんの権利

わたしたちは以下の患者さんの権利を守り最善の医療を提供するように努めます。

1. 良質かつ適正な医療を平等に受ける権利
2. 自己の病状や予後・治療の手順とその危険性および有益性・代替手段についての十分な情報提供を受ける権利
3. 他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利
4. 意思に反する場合、情報を知らされない権利
5. 検査の諾否や治療法の選択について、自らが決定する権利
6. いつでも自己の決定を取り消すことができる権利
7. 個人の医療情報に関するプライバシーが守られる権利
8. 健康教育を受ける権利
9. 人格や価値観が尊重され、尊厳を保って生を全うする権利

# まつもと医療センター



**7月23日(土)**  
**10:00~15:00**  
**会場 松本病院**

## 見よう 触れよう 感じよう あなたに身近なまつもと医療センター

まつもと医療センターは、統合してから第3回目の病院祭を松本病院で開催します。「まつもと医療センター」を広く地域の皆様に知っていただきたいと、職員が様々なアイデアを出し合い手作りの病院祭を準備しました。

### 講演



13:35~14:05 小学館『神様のカルテ』担当編集者 幾野 克哉氏  
「『神様のカルテ』出版にまつわるエピソード」

14:10~15:00 信州大学医学部附属病院 天野 直二 院長  
「もの忘れの世界」-老化と認知症の違い-

### 12:45~13:30 コンサート♪♪♪

桂 聡子さんフルート演奏 他

エイサーの演舞  
その他屋台・健康教室など  
盛り沢山です!!

わぎまるくんも来るよ!

お問い合わせ  
まつもと医療センター 管理課  
TEL 0263-58-4567



桂 聡子さん

## 2011年まつもと医療センター緩和ケア研修会を開催して

まつもと医療センターでは、緩和ケアの充実を目指して、去る1月29日(土)の午後から30日(日)の夕刻までの2日間にわたり、松本病院会議室において緩和ケア研修会を開催いたしました。厚生労働省の「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」に則ったもので、基本的な緩和ケアの知識、技能、態度を修得することを目的とした研修会です。

当センターでは初めての研修会開催でしたので、企画責任者として信州大学附属病院緩和ケアチームのリーダーをされていた浜善久先生(現長野赤十字病院乳腺・内分泌外科部長)をお招きして、会の運営を指導していただきました。

医師を対象とした研修会ですが、緩和ケアに興味のある看護師や薬剤師等パラメディカルの方たちにも参加していただきました。院内の医師が10名、院外からは診療所医師1名、歯科医師2名、パラメディカルでは院内の看護師9名、薬剤師1名、院外の看護師1名、薬剤師1名の合計25名の参加を得ました。

研修会はスクール形式の講義ではありません。少人数のグループに分かれて、がん疼痛患者の仮想症例について疼痛の評価や治療を検討し、各人の意見を自由に発表しあうワークシヨップ形式のものもあります。またオピオイドをはじめ投与するという臨床場面を、医者役や患者役に分かれて演じるいわゆるロールプレイ形式のセッションもあり、患者さんの立場や気持ちを理解することやコミュニケーションスキルの重要性も認識でき

ました。

最後のセッションでは、地域における緩和ケアのネットワーク作りに関するディスカッションが行われました。いつでもどこでも質も高い「切れ目のない緩和ケア」を患者さんに提供するために、病院、在宅支援診療所、訪問看護ステーション、介護サービス等の医療・福祉従事者相互の顔の見える関係作りが必要との意見が多かったです。

2日間にわたるハードスケジュールにもかかわらず、最後まで自由闊達な意見を交わしていただいたことに改めて参加された方々に感謝します。

来年もまたこの研修会を開催する計画です。そのさいには、地域の診療所医師・歯科医師や看護師等の方々がひとりでも多く参加していただければと願っています。



緩和ケアチームリーダー・手術部長  
井上 泰朗  
いのうえ やすろう

## 医療安全研修：聖路加国際病院院長 福井次矢先生をお招きして

—「QI (Quality Indicator) 測定・公表による医療の質の向上」を目指して—

医療は、確立されていく科学的根拠をもとに、進歩し提供され続けています。しかし、各種ガイドラインやエビデンスに準じ完璧な医療が行われているとは言い難いところがあります。この「エビデンス診療ギャップ」に注目し、2005年よりQIを設定、より質の高い診療提供を目指し改善努力をされている病院があります。聖路加国際病院です。

平成23年3月3日、院長の福井次矢先生を招き講演を頂きました。医療の質確立のための土台となる医療安全を確保し推進するために、「QI測定・公表による医療の質の向上」という題目で、全職員対象の医療安全研修として行いました。QIとは何か疑問を持った職員も、1時間半の講演後には、病院職員、患者・家族、地域の方々が医療チームとなり、医療指標に向かい取り組むことの必要性、その改善を継続する重要性を感じることができました。その講演内容の一部を、ご紹介したいと思います。

『糖尿病患者の血糖値コントロール』についてです。医師によって、HbA1c(7%)コントロールできていてる患者比率が39.2%、81.5%と差があり、その誘因に血糖降下薬の処方比率がまちまちであることが判明したそうです。またその差は、治療開始時と1年後のHbA1cの低下の差にも影響したといっています。そこで、各医師と面談、勉強会を開催し、医師ごとのデータ結



果を公表することで、HbA1c(7%)コントロールできている患者比率が46.3%(2004)から62.8%(2009)に改善したということでした。

『入院患者の病院内における転倒・転落発生率』については、5年間で21%(2004)から14.6%(2009)へと、約3割改善したそうです。

アセスメントシートの改良やアセスメント実施率の向上、予防対策説明書発行率の増加など、職員の意識向上を高め、患者・家族と共に注意する体制を整えたことや、トイレに関する環境(手すりの設置や段差の改良)を整備したことが成果につながったということでした。

このほかにも、現在、聖路加国際病院は102項目にわたるQIを公表されています。毎年結果を本にし、誰もがその経過や結果を知ることができるよう可視化されています。自分たちの医療や看護が、他の病院や諸外国と比べどうなのか、何を努力していくべきか、目標を明確にし、オープンな形で改善する試みを継続されています。

厚生労働省は2010年度QIを測定し公表する事業を取り上げ、現在、国立病院機構も定期的に結果を発表しています。それらの結果や今回の講演を受けて、本年度まつもと医療センターでは「医療サービス向上委員会」でQI活動を進めることとなりました。QIを公表し、医療安全を保証した上でより質の高い医療と看護を目指し、患者・家族の方々、そして地域の皆様方と協働で進めていきたいと考えています。



医療安全管理室  
丸山 和子

## 看護の日のイベント



# 一日街の保健室 開催しました



まつもと医療センターでは、5月14日(土)に塩尻市のショッピングセンターGazaにて「看護の心をみんなの心に」をテーマとし、看護の日のイベント「一日街の保健室」を開催しました。まつもと医療センターとして「Gaza」をお借りして行つのも3回目です。毎年、地域の皆さまとふれあい、自分自身の身体状況を知り健康についての理解と関心を持つていただくことを目的に行っています。

当日は、看護師・医師・臨床検査技師・管理栄養士・理学療法士・事務部の総勢36名で実施しました。内容としては、測定コーナーでは血圧・身長体重・BMI測定・体脂肪測定・血糖測定・骨密度測定、相談コーナーでは医師による健康相談、管理栄養士による生活習慣病や骨粗鬆症についての栄養相談、緩和ケア相談、尿漏れ相談

や理学療法士による腰痛体操がおこなわれました。そのほかには、お子様たちにバルーンアートや白衣体験コーナーを設け、白衣を着て記念写真を撮りました。はじめははにかんでいたお子様も白衣を着ると照れながらも笑顔になり、お母さんへカードにメッセージや絵を書いてプレゼントしました。この白衣体験がきっかけとなり「看



護師さんになりたい」という気持ちで芽生えてくれればうれしいです。当日は天気にも恵まれ、会場には早くから列ができて予定時間を繰り上げて開始しました。4時間で213名の地域の皆さまに会場していただき大盛況でした。来場者の中には「毎年楽しみに来ています」「いろんな悩みをそれぞれの専門家に聞けてよかったです」という声や「子育て中はなかなか病院に行くことができないのでこんな機会があったうれしいです」とベビーカーを押しながらの親子や若いカップルの姿もありました。



今回の看護の日のイベントのように、これからもまつもと医療センターの力を地域の皆様に向けて発信し、地域に密着した病院でありたいと思います。

看護研究会会長

平林 咲子

# 「地域連携：体験型外来糖尿病教室」をご利用ください

## 第1回開催のご報告

平成23年3月10日(木) 10:00~15:30に、第1回記念の「地域連携/体験型外来糖尿病教室」を開催いたしました。この5時間半に及ぶ外来糖尿病教室は、ステノ糖尿病センターや京都医療センターでの研修を参考に、患者さんにはこれまで体験したことのないような機会を提供し、またより良い地域連携の構築を目指そうというものです。



図1. 教室では、薬・合併症・こころのケアなどさまざまなテーマに取り組みました。

参加者は20名以内の双方向性かつ体験型教室で、年3回の開催を予定しています(予約必要)。登録医の先生方に通院中の糖尿病患者さんの参加を中心とし、当院糖尿病専門外来通院中の少数の参加患者さんには、あらかじめ体験発表などもお願いすることにしてあります。登録医の先生方から紹介受診という形で外来診療録を作成し、教室参加後は、例えば年に1~2回の特殊検査(フットケア・眼底検査・頸動脈エコー・がん検診など)や連携診療などを効率よく依頼していただけるように、当院連携室に地域連携のクオリティー向上

のための協力・努力をお願いしているところ

です。今回はご案内に十分な時間的余裕がなく、参加者の多くはこちらから希望をお伺いした特定の方となりました。第1回記念ということもあり、内容的には少し頑張りすぎたところもありませんが、図1・2にその様子の一部を示しますが、さまざまなテーマに取り組みましたが、とにかく少しでも糖尿病の療養に関心をもっていただくことを目標にしました。そして「私たちは変わろうとしています。」というスローガンを印字したボールペンも作成し配布しました。



図2. 夕食には、炭水化物が約40g異なる2種類のメニューを用意しました。食後血糖値への影響の違いを体験していただきました。

## 次回7月14日(木)にご参加ください

第2回「地域連携/体験型外来糖尿病教室」は、7月14日(木) 10:00~15:30(松本病院2階会議室)です。予約制(20名以内)で、参加費は1,000円です。当院連携室に、ぜひご予約ください(主治医からのご紹介が基本となります)。

内科・外来診療部長 青木 雄次

# 看護師募集の近況

毎年、看護師募集のため就職活動を行っています。

今年の4月は26名の看護師がまつもと医療センターに就職し、松本市の医療現場で頑張っています。4月22日に幕張メッセにて行われた、「看護学生フォーラム」では、数百名の看護学生が、将来の職場を求めて、熱心に話を聞いてくれました。NHKの「おひさま」の舞台である長野県に関心を示してくれた看護学生もたくさんいました。松本に於いて地域医療の将来の現場を支えていくべく、まつもと医療センターと一緒にがんばれる、たくましくして優しい看護師をめざす看護学生におおいに刺激を受けた就職説明会でした。

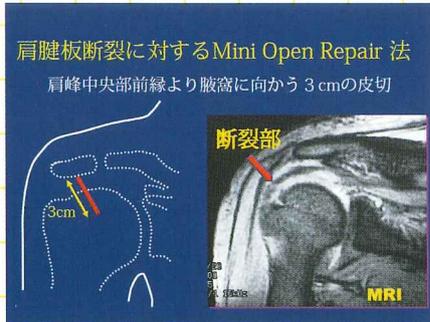


副看護部長 島内 俊子

# 科紹介

|   |  |  |  |
|---|--|--|--|
| <p>整形外科では頸椎症、腰部脊柱管狭窄症、変形性関節症などの変性疾患、手根管症候群（母指から中指にかけてのしびれを生ずる疾患）、肘部管症候群（肘の変形などに伴い薬指、小指にしびれを生ずる疾患）などの上肢末梢神経障害、骨折、捻挫、打撲などの外傷等上肢、下肢、脊椎のさまざまな疾患を対象として治療にあたっています。</p> <p>当院では、これら整形外科疾患のなかでも上肢、下肢の関節疾患を中心とした診療体制をとっており、変形性股関節症および膝関節症に対する人工関節置換術、肩腱板断裂（俗に五十肩といわれている中に存在する肩の腱板という筋肉が断裂した疾患）に対する肩腱板断裂手術、上肢の末梢神経障害（手根管症候群や肘部管症候群など）に対する</p> | <p>外科的治療などを行っています。頸椎、腰椎などの脊椎疾患については、痛みやしびれなどの症状に応じて内服薬、点滴による治療やこれらの治療が無効な際にはブロック治療（お尻の先端にある仙骨裂孔という穴に注射する仙骨ブロックや痛みの原因となっている神経の枝に針を刺す神経根ブロック）など保存的治療を外来で行います。通院が困難なほど疼痛が強い患者さんには2〜3週間の入院治療なども行つたうえで、手術的治療の適応や希望がある患者さんについては近隣の脊椎疾患を専門とされている先生方に紹介させていただき連携をとりながら治療を行っております。</p> <p>また、患者さんの高齢化に伴い骨粗鬆症に由来する脊椎圧迫骨折（転倒などをきっかけに腰部痛を生</p> | <p>ずる疾患）が増加しており、体動困難な患者さんには2〜3週間の入院による安静やコルセットの作製、その後のリハビリなどの治療も行なっております。</p> <p>3人の整形外科医（うち2人が整形外科専門医）が患者さんと十分に話し合った上で、これらの治療方針を決定し治療にあたっております。</p> |  |
|---|--|--|--|

# 整形外



またMRI（レントゲンではと  
らえられない筋肉や神経など骨以  
外の病変をみる検査）、CT、骨  
シンチグラム（全身の骨病変など  
をみるができる検査）、骨塩  
定量などの検査機器も設備されて  
おり、高度な医療が提供できるよ  
うな体制を整えております。さら  
に、これらの検査を近隣の開業医  
の先生方にもご利用いただけます  
ように連携室を通して予約し、放  
射線科医による画像診断も併せて  
検査結果をお返しするシステムも

院内に整っております。そのこと  
により患者さんやかかりつけの先  
生方のお役に立てるものと考えて  
おります。  
外来診療では手術後の定期診  
察の患者さんや新患の患者さん  
の増加に伴い手術に支障を来す  
こともあり、本年5月より火曜  
日を再診患者さんのみとさせて  
いただいております。地域の皆  
様や先生方にはご迷惑をおかけ  
いたしますが御理解のほどよろ  
しくお願いいたします。

## 診療実績

### 主な整形外科手術件数

整形外科医長

若林

真司

|          | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|
| 人工股関節置換術 | 34     | 28     | 31     | 19     |
| 人工膝関節置換術 | 27     | 32     | 23     | 22     |
| 肩腱板断裂手術  | 30     | 23     | 25     | 26     |
| 末梢神経手術   | 11     | 14     | 19     | 13     |

# 野村 医院 紹介



のむら くにひろ  
**野村 邦浩 先生**



〒390-0828 長野県松本市庄内3丁目4-43  
TEL(0263)25-1619  
URL : <http://nttbj.itp.ne.jp/0263251619/index.html>

## 診療時間

| 時間/曜日       | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|
| 9:00~11:45  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 15:00~17:45 | ○ | ○ | ○ |   | ○ |   |

\* 休診日/日曜日・祝日 \* 木曜日・土曜日は午前のみ

私の診療所がある庄内は、松本駅と南松本駅のちょうど中間、どちらの駅からも歩いて15分ほどのところにあります。中心部に近い割に、田んぼや畑もあってのんびりしたところだったので、最近は、大きな公園やショッピングセンターもできて新興住宅地のようになっています。

医院ができたのは昭和の初めで、昔からある診療所の常として、乳児の予防接種から子供の感染症、大人の生活習慣病や高齢者の往診もやる、文字通り「人の一生に寄り添って」といった感じです。私がやるようになって、早いもので8年になりますが、その間「まつもと医療センター」の各科の先生方には大変お世話になりました。治療や検査のため入院が必要な患者さんや、専門医の診察が必要な患者さんを快く受け入れていただき、たいへん感謝しています。

ところで私のところには、お

腹の調子が悪い方がよく来られることもあり、お腹の調子をよくすることにも取り組んでいます。年代も未就学児から、若い人、ご老人と様々で、一人ひとり症状も違ってはいますが、患者さんと一緒に、食べ物や飲み物、運動にお酒、ストレスコントロールなど生活習慣を見直して、どうやって調子よく出るようになるかのお手伝いもやっています。お困りの方は一度相談に来ていただければと思います。

「まつもと医療センター」の松本病院、中信松本病院は松本・塩尻両市の中核病院というだけでなく、血液内科や呼吸器外科、皮膚科に小児科など、他の総合病院さんには無いことも多い科の先生方も多数おられ、とても頼もしい存在だと思えます。これからも両院には、私や患者さんを含めお世話になることも多いと思えます。ご活躍を期待しています。

# 患者さんへの思いを込めて作品寄贈いただきました

## 和紙画

作品寄贈者 古川はや美さん

和紙画の創作をされている古川はや美さんより、作品を寄贈していただきました。

安曇野特産の山繭(天蚕)をすき込んだ和紙を使い、銀河や星を表現されたそうです。山

繭独特の淡い緑を基調にした温かみあふれる作品のタイトルは「ジブリール」。渴きを癒すという天使の名にちなんで名付けたとのこと。大きな球体が二つ浮かんでいるデザインには、「病気は一人では治すことはできない。家族、友人、病院が患者さんを支えることが治療につながる。けっして一人ではない」という思いが込められています。

古川さんが以前病気を患った際に治療にあたったのが外科の小池医師で、そのご縁で制作してくださいました。命の大切さを思い、作品の創作にあたってのことです。

作品は消化器病センター入り口に展示してあります。

是非一度ご覧になって下さい。あなたはどのように感じられますか？



## 写真

作品寄贈者 林 良一先生

両病院の外来棟でひときわ目をひく大きな美しい写真をごらんになつたことがあるでしょうか？「北穂高から槍ヶ岳を臨む」「八景島のイルカとイワシ」「冬の燕岳くうさぎのあしあと」

「上高地から見た朝の西穂高」山々の壮大な美しい姿は病と闘う患者さんの心を勇気づけ、イルカとイワシは小児科外来でこどもたちのアイドルです。この写真は、岡谷市立病院院長補佐・林良一先生から寄贈していただきました。林先生が長年撮りためた写真、特に松本市政百周年記念事業でヒマラヤ登山された時の写真に注目したプリンターメーカーから、大きなサイズの写真にプリントしてみたいと申し出があり作成されたとのこと。「作成してみたもの大きすぎて(150cm×200cm!)飾る場所がなかなか見つからなかったんですよ、まつもと医療センターで患者さんたちを楽しませることができて良かった」とおっしゃる林先生、そのお気持ちは今日も患者さんや職員を癒しています。



# お知らせ

## 中信松本病院

### 健康教室

テーマ メタボリック症候群と食事の話

中信松本病院で行います。患者さん、ご家族、どなたでもご参加いただけます。事前申し込みは不要ですが、骨密度測定は先着20名になります。

日時／6月30日(火)  
受付／13:00～13:30  
測定／13:00～13:30  
骨密度(先着20名)、血圧、血糖、体脂肪の測定を行います。

講演 13:30～14:30  
メタボリック症候群と食事の話  
講師／松本病院内科医長 小林 正和  
主任栄養士 荻原 克恵

## 松本病院

### 市民公開講座

地域住民の皆さんを対象にした公開講座(無料)です。

大勢の方々のお越しをお待ちしています。

日時／7月3日(日) 13:00～15:00  
場所／松本病院会議室  
テーマ／どうしてがんになるの?  
～あなたのギモンに答えます～

\*医師からのお話のあと、質問コーナーを設けます。

## 松本病院

### 第2回「地域連携／体験型」 外来糖尿病教室

講師／内科・外来診療部長 青木 雄次・他  
日時／7月14日(木) 10:00～15:30  
場所／松本病院2階会議室  
参加費／1,000円

予約制(20名以内)  
問い合わせ先  
・松本病院 地域医療連携室 丸山  
・予約専用 TEL.0263-86-2812  
FAX.0263-86-2816

## 中信松本病院

### 在宅医療研究会

今年度は疾病に関する基礎知識をテーマに5回開催予定です。

7月28日(木) 18:00～  
テーマ／糖尿病

講師／外来診療部長・内科 青木 雄次  
場所／中信松本病院 第一会議室

9月22日(木) 褥瘡とストマケア  
平成24年1月26日(木) 循環器疾患  
2月23日(木) 呼吸器疾患

地域で在宅医療に関わる診療所の先生、訪問看護師、ケアマネージャー、ヘルパーなどみなさん、参加をお待ちしています。(事前申し込みなどは不要です)



まつもと医療センター  
第13号 平成23年6月24日発行  
発行人 院長 米山 威久

松本病院  
〒399-8701 長野県松本市村井町南2丁目20番30号  
TEL.0263-58-4567 FAX.0263-86-3183  
中信松本病院  
〒399-0021 長野県松本市寿豊丘811  
TEL.0263-58-3121 FAX.0263-86-3190  
<http://mmccenta.jp/>



(M)

● 編集後記 ●  
地域の皆様から今まで以上に親しまれる広報誌の編集を目指して、新しいメンバーと共に今年度のスタートを切りました。これからも頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひします。  
今年の夏は「さわやかな信州」でありますように。